



# 環境・安全教育・防災・命の

### 教え込むのではなく、子どもたち自身に意識を

地域社会で安全に生活できるように、地域とのつながりに配慮するとともに、 子どもたち自身が日ごろより意識し、考え、たくましく生き抜くことができるように、紙面を工夫しています。



自然とかかわる中では、環 境保全の意識と、子どもた ち自身の安全確保が大事 になります。

別冊 P.2~3





生態系への配慮や、資源の有効活用など、 基本的な環境意識を押さえています。

下巻 P.124

あんしん あんぜん

おちついて あるこう



## 教育

通学路の安全確保,子どもの日ごろからの意識の持ち方は 最重要課題です。上巻の最初の単元,巻末資料やたんけん ブックでしっかりと押さえています。

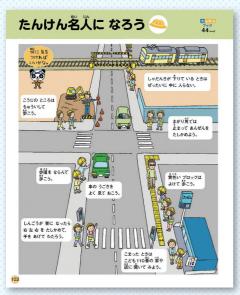


DANE まもろう

WARRY ON DE UPPE

上巻 P.8~9

町たんけんではさらに行動範囲が広がるため、マナーや安全に関わる約束事など 大切なことに触れています。



下巻 P.25

 夏休みなどの長期休暇の過ごし方でも,安全面に配慮しています。



下巻 P.49



上巻 P.59



#### 防災・減災と生活科の融合を

日ごろからの意識づけもさることながら、学校の周り探検や町たんけんなどで目にする、 不思議なものに興味をもつという、生活科本来の趣旨も大事にしながら紙面を構成しています。





上巻末では屋内も含めた安全を, たんけんブックでは野外に特化 した安全を掲載しています。

また、家の人と逃げる場所を決めておく書き込みを設け、たんけん ブックが非常時でも役立つ本になるようにと考えています。



別冊 P.46 ~ 47



#### 生き物とのふれ合いにも配慮

生き物とのふれ合いには、その温かさが紙面からも伝わるように写真を厳選しました。 また、生き物と接する際、生き物の事を考えて接することができるように、紙面を工夫しました。 生き物とのふれ合いは、道徳心を養うことにも有効です。



### 衛生面にも配慮



生き物の気持ちになって, 接し方を考える巻末資料 も設けました。

#### 下巻 P.56~57

衛生面にも特段の配慮を行いました。例えば、 栽培活動で収穫した生野菜については家庭 での管理のもとで食べるように促し、また、飼 育動物については、環境省により要注意外来 生物に指定され、ザリガニカビ病などの衛生 面の不安のあるアメリカザリガニを掲載せず、 より安全なバッタをメイン素材として位置づけ ました。